

常磐新聞

發行編輯人 川崎文治

福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地

發行所 常磐毎日新聞社

印刷所 一〇活版所

定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元

電話 三〇七番

刊夕日一卅月五

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に読める

平町長橋町三五 川崎文庫

(申込次第規則書進呈)

看護婦派遣の求めに應ず

平町南町 看護婦會

電話三〇七番

常磐文藝

悔ゆる母 飯村閑舟

吾子戀し深い惱みよ 罪やせめての物感みに 寛恕せよ、小鳥吾子や、母は泣く泣く涙のつたに、途切れる雲の靄いまでに、洗滌の清い急流の眞白き粉雪の如く、

改む胸に咲く咲く パラの花美々しく タイムの流れは早い 母の心は遅い 併もそこには花より 實に結ばれる、眞實な 連糸の纏ひがある(完)

江かばやき 戸らあき

新築落成しました 相變らず御注文の際は 電話四二四番を 御利用下さい

御料理 仕出し 魚榮

平町二丁目北裏通

和久井漆器屋

漆器指物

平町一丁目 電話四〇五番

五月人形 (小道具一式)

武者人形 座敷 例年の通り目下 賣出中です

是非御用命の程を!!!

雑貨 いづや

平町二丁目百七銀行隣

所謂排日の原因(六) 不攀山人

即ち今日之を云ひば租借權の獲得を圖つたので以て東方浸畧の實を擧げ様としたのであります

幸ひ帝國は露國の漸進主義を極端に嫌つて居る英米佛國の援助に依つて事なきを得たのであります

斯様に數百年の昔に於て既に民族發展の自由を認め各國互に殖民政策を取持し乍ら獨り現在我國の海外發展のみを不當呼ばりして之を妨害する爲めに種々の卑劣手段を取てると云ふ事は

肉彈

見よ帝キネ黄金時代の出現

陸軍省後援の許に一箇師團出動 櫻井中尉の名著 血湧き肉躍る

思ひ起す明治卅七八年シベリアの屍山血河にたはれし護國の勇士が肉彈を見よ!!!

連続大時代劇 花の春遠山櫻

平町白銀町 帝國館 電話五五五

和洋銅鐵 釜屋商店

金物問屋

千代田火ノシ! 富貴コテ! は

平町五丁目

電話 三九番

開店御披露

伊好店

クースーリ

關内藥舖 藥劑師 關内栄助

電話四〇番

寄書

とりも直さず世界文明の甚だしき逆轉であつて彼等の振舞真に片腹痛しと云ひ度いのであります

殊に彼米國は彼自ら殖民地の成り上り者であるに拘はらず排日或は土地所有禁止にあらゆる民族發展の自由を否定するは此れつまり泥棒の泥棒呼はりと同じ論法であつて何等其間に深遠有意義の眞理の含めるものではないのであります

彼等は彼自ら民族發展の自由の制限を叫んで居るが其裏面に於て果して其主張に合休し一致した所の行動を取りつゝあるでありませうか私は今茲に米國を始めと

東新株 先限 實物

前場後場共入電致居候

平町田町 電話三三三番

丸登株式店

川添房二郎

株買買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐城銀行	一二五	一〇五
磐城銀行	三〇〇	二九五
田村銀行	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
同新	五〇〇	五五〇
同新	一二五	一六〇
七七銀行	一二五	九八
同新	五〇〇	三八五
郡山電氣	二五〇	一八〇
同新	二五〇	七三
只見川電	二五〇	一五五
植田水電	二五〇	一四〇
好問水電	二五〇	五五
磐城建物	二五〇	六〇
磐城製菓	二〇〇	三五〇
平信託	五〇〇	一三五
磐城物産	二五〇	二八〇
植田物産	二五〇	二三〇
平製水	二五〇	三五〇
好問軌道	五〇〇	一七〇
入山新	三三五	一一〇
小田炭礦	二五〇	四三〇
磐城炭礦	五〇〇	一九〇
同新	二二五	六八〇
磐城セメント	五〇〇	三七〇
同新	二五〇	八〇
平運送	二二五	

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候



平全町民死活の鍵を如何にする

水道上流に發電所を許可

縣當局は平町を無視したことで、伊坂町長眞つ赤になつて怒る。

過日縣知事から許可された好間川上流に小田炭礦發電所設置の件は以前平町會に於て同所が平水道の水源であるの關係から水質を汚損するの懼れありとして同意を表しなかつたに拘らず、今回突如許可されるに至つた爲め甚だ平町を無視せしめたるものなりとして町會を開き伊坂町長から詳細の經過報告あり「一營利會社の爲に平町民の生命に至大の關係ある水源を蹂躪されて黙視する事が出来るか？ 今回の許可は甚だ不當の故を以つて縣當局に迫り行政訴訟に及んで二萬五千町民の生命保全の爲め所志の貫徹を圖らねば止ぬ」と力説する所あつた故に今後問題の推移如何に依つては非常な紛議を醸す事であらうが大正拾二年六月二日町當局から提出した不同意の理由書は左記の如くである。

(前略) 叙上の如く營利會社の配給を受けるか如きは町民の不安に堪ざる所なるを以て之を拒絶せざる可からず而して大瀧江筋より取入るの用水は當町上

水道用水 の外好間大字上好間、中好間、内郷村大字宮方面に渉る飲料水及灌漑用水にして取入口より當上水道分岐点に至る三百七拾六間は當町に於て水路を維持し並に好間村内郷村方面の所要水量を流送するの義務を負ふものに有之而して

出願者の 計畫は發電水路の水槽より鐵管を布設し當町用水丈の之に依り分水供給するの計畫なるも其説明に依れば掃除其他の爲め毎月一回斷水の必要あり其場合と且つ水路故障等の際に現在水路より取入る事を承認せられ度旨の申出ありされば町は現在と何

全水量を 取入るに非ざれば所要の水量を充たす能はざる状態に在るを以て出願の發電所放水口位置を當町上水道取入口より下流に變更せんとする出願に對しては到底同意し能はざる次第なり、若し萬一本出願に對し途中に於て必要な水量を分流すべき條件の下に許可せらるるか如き

事あらば干拔時は前述の如き有様なるが故に必ずや紛議を醸するを免れず而して平素所要水量のみ分流せらるる時は流速は緩慢となり自然水質の不良に際し水量増加せんに常時に沈澱したる汚物及汚濁したる河床を洗ひたる極めて悪質なる水の流下を見飲料に供し得ざるに至ること亦一點疑ひなき所なり將又同意願の條件として提示せる即ち御町希望に添ふへしとの件に對し前述の如き不安と水質悪化等を

震災で延期された
國家防備に至大の關係
糧口本郡統計係語る

昨年十月十日を以て執行の筈であつた勞働統計實地調査は震災のため延期されたが来る十月十日を以て執行するにことになり樋口石城郡統計主任は右について語る『勞働統計は北海道栃木縣など既に昨年於て調査を了して充分なる經驗と基礎とを有してゐるところもあるこの勞働統計は特に國家防備の上から又經濟的關係から見ても重要且つ至大の關係があるもので係員の我々もこの際一層の馬力をかけて本縣の縣治並に産業發

勞働統計の實地調査
國家防備に至大の關係
糧口本郡統計係語る

展の上にも充分なる參考資料たるべきものを作りあげたい』

狩獵免狀の
返納を整理
忘れは處分

平警察署では狩獵免狀返納整理のため嚴重督促を開始したが從來は取締りが緩やかであつた爲め一般狩獵者も免狀返納を承知しながら之を怠るので今度からは滞納者に對し嚴重所分すると

小名濱校増築
石城郡小名濱町にては六萬四千餘圓を以つて小學校々舎増築の計劃を立てたが其内五

第一乙種拾六名丁種五名成種一名であつたと

常警各驛視察 大村鐵道監察官は最近常警各驛の兩線を視察したが更に同省工務課改良係技師木村芳人氏も水戸以北の各驛を視察して同廿九日來平の上平驛を視察し卅日植田驛方面に赴いた

熱球を
カツ飛ばして
少年の猛練習

いはらき新聞平支局主催少年野球大會は來月七八の兩日警中校庭に開催される筈であつて各小學校は名譽の優勝旗を獲得せんと初夏の空に熱球をカツ飛ばして猛練習中

養蠶組合認可
石城郡養蠶同業組合設置に就て發起人總代和田基内氏より此程農商務省に對し認可申請中なりしが廿七日附設置認可された

質小切手遺失
平町三丁目三井吳服店柏原幸次郎氏振出し磐城銀行の額面一萬六千五百圓の小切手を廿九日福島驛構内で拾得届出た者があつたので該小切手を振り出した筈の三井吳服店では全く振出した覚えがないといふのが本月中旬或行商人に小切手を振出した際過つて二枚渡した事判明し受取つた商人が之を好機として無記入の小切手用紙に前記の金額を記入したらしいので平署では目下秘密裡に取調中である

ネキ
肉彈の人氣
昨晩から帝國館に上映された「肉彈」は愛國の士の一度は是非其見ざるべからざる名映畫である爲め人氣沸騰し満場立を呈したが今明日の畫間は平町各公私立學校生徒の團體觀覽ある筈であるから一層其人氣を發輝する事が出来るであらう

優漁船表彰
豊間村にて
石城郡豊間村では六日一日午前十時公會堂で十二年度優良漁業者表彰式を舉行表彰者左の如し

平町人事
出生
△三丁目 梅原幸助氏二男喜男
△死 亡
△材木町 齋藤チエ(三)

平簡易診療所は 診察も薬價も無料

毎夜六七人の患者が来る 越旨が一般に徹底

平町醫師團にては昨年中から平町一丁目鷹崎看護婦學校内に簡易診療所を設け毎日午後六時から八時までの間二名乃至三名の醫師出張無料にて一般の診療に従事して居るが昨今に至つて此趣旨が漸次一般に徹底したものの如く毎日六七人の來診者を見るに至つた右に就いて鷹崎氏は語る『私は社會事業として此事に大なる賛意を表し校舎の一部を無

償提供して居るのであります。一般の貧困な患者は診察並に薬價が總べて無料であるから非常な幸福を興へる次第です。因に六月からの醫師出張日割は左の如くである

(一日、十六日) 矢吹大輔
新妻幸之助(二日、十七日)
鈴木亮、藤沼平次郎
(三日、十八日) 吉田安雄
酒井國三郎(四日、拾九日)
大森勇、星恒明(五日、廿日)
松村鐵郎、根本莊次郎(六日、廿一日) 木村寅

徴兵 検査 結果

甲種卅四名
平町に於ける壯丁徴兵検査は昨日執行の結果壯丁百十七名にて甲種合格卅四名

磐城丸豊漁

鯉四千尾漁獲
縣水産試験場磐城丸は去廿八日午後五時頃小名濱沖合約百漚の漁區に於て鯉四千尾を釣漁して歸港したが水揚げ相場は四十割にて漁場